

茨城県環境アドバイザー名簿 ①

令和9年3月31日まで

茨城県環境学習
プログラム(教材)

専門分野		氏名	所属等	小学生 キッズ ミッション	中学生 持続可能 な茨城	
地球環境	地球温暖化	水戸地方気象台				
		梶川 直樹	一般社団法人茨城県環境管理協会			
		斎藤 保夫	茨城高専名誉教授工学博士、茨城県地球温暖化防止活動推進員 ひたちなか市の環境を良くする会温暖化防止分科会 会長			○
		田森 行男	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会温暖化防止部会 副部長			
		廣田 充	筑波大学生命環境系 教授			
	大 気	古賀 聖治	(国研)産業技術総合研究所プランディング・広報部 テクニカルスタッフ			○
		若松 伸司	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会 理事			
	水 質	遊馬 一幸	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会 理事			
		沼澤 篤	一般社団法人霞ヶ浦市民協会 研究顧問			
	土 壤	田村 憲司	筑波大学生命環境系 教授 農学博士 ミュージアムパーク茨城県自然博物館友の会 理事			○
	廃棄物 リサイクル	遠藤 茂寿	(国研)産業技術総合研究所 テクニカルスタッフ			
		軽部 達夫	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会 理事長		○	○
		小寺 洋一	つくば環境工学 代表			
		寺園 淳	国立研究開発法人国立環境研究所 フェロー			
生活環境	公害・化学物質	縣 邦雄	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会 理事	○		
	環境アセスメント	三浦 光通	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会 理事			
	エコ住宅	中村 真紀子	NPO法人やみぞの森 常務理事			
環境 パート ナリー シップ	環境学習	株式会社イトーヨーカ堂				
		株式会社ヨークベニマル				
		スカイマーク株式会社				
		パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 CXイノベーションセンター				
		阿部 治	(公社)日本環境教育フォーラム 理事長			
		小川 達己	学びの広場 代表、NPO法人エコ・コミュニケーションセンター 理事		○	○
		松本 いずみ	龍ヶ崎市民環境会議		○	○
		青木 通彦	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会		○	
		小島 幸子	逆川こどもエコクラブ 代表サポーター		○	○
		中村 恵美子	しんそう世界だいすきクラブ 代表サポーター、共に生きる		○	○
		北條 勝彦	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会 名誉会員(前理事長)		○	○
		水野 恵美子	NPO法人エコ・コミュニケーションセンター 理事		○	○
		宮田 孝	NPO法人茨城県環境カウンセラー協会 副理事長兼事務局長		○	○
自然環境	昆 虫	石塚 武彦	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主査			
		井上 尚武	茨城生物の会 理事			
		荻沼 正和	茨城生物の会 会員			
		小菅 次男	茨城生物の会 顧問			

茨城県環境アドバイザー名簿 ②

令和9年3月31日まで

茨城県環境学習
プログラム(教材)

専門分野	氏名	所属等	小学生 キッズ ミッション	中学生 持続可能 な茨城
昆 虫	佐々木 泰弘	茨城県生物多様性センター、茨城生物の会 事務局長		
	成田 行弘	茨城生物の会 副会長		
	久松 正樹	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主査		
	山根 爽一	茨城県生物多様性センター センター長、理学博士	○	○
植 物	独立行政法人 国立科学博物館 筑波実験植物園			
	安嶋 隆	茨城生物の会 副会長		
	安見 珠子	茨城生物の会 理事、日本シダの会、茨城植物研究会		
	飯田 勝明	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 自然友の会 副会長		
	岩浪 順子	茨城生物の会、ミュージアムパーク茨城県自然博物館 総合調査調査員		
	内山 治男	茨城生物の会 理事		
	上條 隆志	筑波大学生命環境系 教授、博士(農学)		
	茂垣 はるえ	茨城県生物多様性センター、茨城生物の会 理事		
	安 昌美	茨城生物の会 理事		
	吉武 和治郎	かさま環境を考える会 会長、茨城生物の会 監査		
	和田 充	茨城生物の会 理事、ひたち太田生物友の会 副会長、自然観察指導員		
水生生物	鴨川 充	日本貝類学会、茨城動物調査会(海産動物) ミュージアムパーク茨城県自然博物館 総合調査研究員		
	川島 省二	一般社団法人 茨城県環境管理協会 環境事業部長		○
	早瀬 長利	環境省希少野生動植物種保存推進員 ミュージアムパーク茨城県自然博物館動物調査員、おもしろ理科先生講師		
	舟橋 正隆	ミュージアムパーク茨城県自然博物館研究員及び総合調査研究員 元アクアワールド茨城県大洗水族館 参事兼副館長		
	増子 勝男	土浦第一高等学校 教諭		
	桐原 幸一	茨城生物の会 会長		
野 鳥	石井 省三	日本野鳥の会茨城県 幹事、森林インストラクター		
	方波見 守一	茨城県鳥獣保護管理員(鹿行地区)、日本野鳥の会茨城県、潮来野鳥の会 会長		
	川崎 慎二	日本野鳥の会茨城県 幹事		
	仲田 立	茨城生物の会 理事、日本野鳥の会茨城県 幹事		
	後藤 俊則	環境省自然公園指導員		
	矢吹 勉	日本野鳥の会茨城県 会長		
自然体験	榎本 友好	自然観察指導員		
	栗栖 宣博	ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主査		
	酒井 和宏	茨城県シェアリングネイチャー協会 理事長		
	福井 正人	NPO法人宍塚の自然と歴史の会 副理事長	○	○
	渡辺 浩美	NPO法人やまびと倶楽部 理事長		
	金久 由美	龍ヶ崎市民環境会議環境学習部会 部会長		
	高橋 郷史	茨城県生物多様性センター、国定公園管理員		

茨城県環境アドバイザー プロフィール ①

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
地球 環境	水戸地方気象台	県全域	地球温暖化	小学生 中学生 高校生 大人	○		対象は小学生から大人まで、人数に制限はありません。気候変動の実態と予測、地球温暖化への対策のほか、天気予報の発表、警報・注意報等の防災気象情報の利活用についての解説を行います。
	梶川 直樹 一般社団法人 茨城県環境管理協会	県北 県央 県南 鹿行	地球温暖化 水質環境	小学生 大人	○		当協会は、茨城県から「茨城県地球温暖化防止活動推進センター」として指定されており、県や企業、団体などと連携して様々な温暖化防止活動を展開しています。それらの経験をいかしてわかりやすい講義に努めます。
	齋藤 保夫 茨城高専名誉教授工学博士 茨城県地球温暖化防止活動推進員 ひたちなか市の環境を良くする会 温暖化防止分科会 会長	県北 県央 県南	地球温暖化 大気環境 再生可能エネルギー 省エネルギー 廃棄物・リサイクル エコドライブ 食品ロス 公害・化学物質 環境学習、SDGs	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○		今日の地球環境、特に気候変動対応や温暖化防止を目的とした脱炭素社会の最新情報や私たちにできるライフスタイルを紹介します。 例えば生ごみの段ボールコンポスト作成、オリジナルグリーンカーテンの育成、雨水・廃油の有効活用など家庭や学校でできる省エネ対策について一緒に取り組みましょう。
	田森 行男 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 温暖化防止部会 副部会長	県南 県西	地球温暖化 再生可能エネルギー 省エネルギー	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○		2023年の夏は記録破りのうだるような暑さでした。近年の異常気象と地球温暖化、そしてその様々な影響を振り返ってみましょう。温暖化を抑えるには自然エネルギーを大幅に活用することが大切で外国の事例も参考になります。そして何よりも身近な取り組みでは、家庭での省エネ・節電が大事です。日常に考えたい事例などを挙げてみましょう。
	廣田 充 筑波大学生命環境系 教授	県央 県南 県西 鹿行	地球温暖化 大気環境 土壌・地下水 植物 生物多様性 環境学習 SDGs	中学生 高校生 大人	○	○	地球温暖化が世界や日本に及ぼす影響について説明し、地球温暖化がこれ以上進まないために、何をすべきか？自らの研究活動を踏まえて出来ることを紹介します。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ②

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
大気	古賀 聖治 (国研)産業技術総合研究所 ブランディング・広報部 テクニカルスタッフ	県全域	大気環境 地球温暖化 環境学習	中学生 高校生 大人	○		大気環境の自然状態を把握するため、日本南極地域観測隊の参加して南大洋および小笠原諸島父島において、大気微量成分の観測を行ってきました。海の藻類が作る大気微量成分は、雲形成を通して地球を冷やし、オゾン層の維持や酸性の雨にも関わっています。これまでの観測結果を交え、藻類・雲・気候の関係に迫ります。
	若松 伸司 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 理事	県南	大気環境 地球温暖化	高校生 大人	○		光化学大気汚染やPM2.5等の地域大気汚染が起こる仕組み、日本における大気汚染対策の歴史等を、これまでに行われて来た大気汚染や気象の観測データ、モニタリングデータを使って紹介します。また地球温暖化と地域大気環境の関連性を学習して、これからの私達の暮らし方を考えて行きましょう。
地球環境 水質	遊馬 一幸 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 理事	県全域	水質環境 地球温暖化 省エネルギー 環境学習	中学生 高校生 大人	○		県内自治体などが主催するイベントで主に、お子様向けに霞ヶ浦の湖水の浄化実験のデモンストレーションを行っています。また企業内での環境マネジメントシステムやその他環境保全活動に取り組んできました。最近では一般市民の皆様を対象とした霞ヶ浦の水質や地球温暖化のお話などもさせて頂いております。
	沼澤 篤 一般社団法人 霞ヶ浦市民協会 研究顧問	県南 県西 鹿行	水質環境 水生生物 生物多様性	大人	○	○	霞ヶ浦及び流入河川の水環境の現状とその歴史の変遷について解説します。霞ヶ浦に負荷を与える要因及び水質改善の基本的考え方についてもふれます。さらに霞ヶ浦の生物多様性、生態系についてお話します。
土壌	田村 憲司 筑波大学生命環境系 教授 農学博士 ミュージアムパーク茨城県自然 博物館友の会 理事	県全域	土壌 地球温暖化 水質環境 生物多様性 自然体験 環境学習 SDGs	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○	○	地球温暖化や土壌汚染、砂漠化などについて講演や講義を行います。また、子どもたちや大人までを対象にして、土壌の観察会や光る泥団子作りなどを指導します。生命を育む土壌についてその生産系における役割や土壌保全の重要性、無肥料無農薬栽培(自然栽培)農法における土壌のはたらきや土壌多様性の保全の重要性についてわかりやすくお話いたします。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ③

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
地球環境 廃棄物・リサイクル	遠藤 茂寿 (国研)産業技術総合研究所 テクニカルスタッフ	県全域	廃棄物・リサイクル	小学生 中学生 高校生 大人	○		日常生活で不要になったものを廃棄しますが、電気製品などには金などの貴重な資源が含まれており、その回収・リサイクルは大切です。しかし、回収にはお金やエネルギーがかかります。廃プラスチックから元の材料・製品を作るとはどうでしょうか。そこで、どの様なリサイクルが私たちにとって本当に有効なのかを考えてみましょう。
	軽部 達夫 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 理事長	県南 県西	廃棄物・リサイクル 水質環境 環境学習	小学生 中学生 高校生 大人	○		主に小中学生を対象とした参加型の水質浄化実験を行います。実験後に身近な水道水の使い方や水資源に恵まれない地域の生活などを紹介して水質保全と水資源の重要性について説明します。廃棄物関連では、中学生以上を対象にして廃棄物処理の問題や再資源化を中心に一緒に考えたいと思います。
	小寺 洋一 つくば環境工学 代表	県央 県南 県西	廃棄物・リサイクル	高校生 大人	○		廃棄物、とりわけプラスチックの話は問題が複雑で多岐にわたります。プラスチックの特徴や廃棄物の性質、リサイクル技術と経済性など必要に応じて広い範囲の話題を提供します。
	寺園 淳 (国研)国立環境研究所 フェロー	県全域	廃棄物・リサイクル 大気環境 (アスベストのみ)	中学生 高校生 大人	○		私たちは、多くのモノに囲まれて便利な暮らしを送っています。でも、ごみになった時どのようなことになっているか、知ってますか。家庭ごみ、電気製品、電池、プラスチックなどの事例から考えましょう。以前、建築材料に使われていたアスベストが、大気に飛んで健康被害を出さないための対策の話もできます。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ④

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
生活環境	公害・ 化学物質 縣 邦雄 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 理事	県全 域	公害・化学物質 水質環境	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○		・湖沼、河川の水の汚れについて、科学的に考える。(講演と水質検査) ・浴槽水や各種水系のレジオネラ属菌汚染の実態と対策の講演。 ・水質に関してわかりやすく、科学的に解説します。
	環境ア セスメント 三浦 光通 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 理事	県中 央南 鹿行	環境アセスメント 水質環境 土壌・地下水 再生可能エネルギー	小学生 中学生 高校生 大人	○		人が豊かな暮らしをするための開発事業も環境に悪い影響を与えては、本当の意味で豊かな暮らしをするための開発とはいえません。事業が社会環境や自然環境などに与える様々な影響について調査・予測・評価をし、環境に対してより良い事業となる様に反映していく、それが環境アセスメントです。環境アセスメントについて一緒に考えてみませんか。
	エコ住 宅 中村 真紀子 NPO法人やみぞの森 常務理事	県全 域	エコ住宅	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○		環境と共生しながら、家庭が健康に安心して暮らせる家づくりを目指し、住宅設計を行っています。また、SDGsの観点から、森林の環境保全を目的としたNPO活動に2000年より携わっています。 地球環境、地域環境、居住環境、それぞれの捉え方、さらに自然環境に負荷の少ない暮らし方について一緒に考えましょう。
環境 パート ナー シ ッ プ	環境学 習 株式会社 イトーヨーカ堂	県南	環境学習 廃棄物・リサイクル 食品ロス	小学生	○		通常業務に関連する環境の取組のご紹介。 例) ペットボトルリサイクルや資源回収(牛乳パック、食品トレー)、フードドライブ活動についてなど。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑤

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
環境 パート ナー シ ップ	株式会社 ヨークベニマル	県北 県央 県南	環境学習 地球温暖化 省エネルギー 廃棄物・リサイクル	小学生 (高学年) 中学生	○		(株)ヨークベニマルは、生鮮食品や惣菜をはじめとする食料品並びに日用雑貨、家庭用品等の住居関連商品や衣料品の販売を行っておりますスーパーマーケットです。店頭での資源物回収(リサイクルステーション)、太陽光パネルの設置、持続可能な商品の調達等、様々なサステナビリティ活動に取り組んでおります。
	スカイマーク株式会社	県全 域	地球温暖化	小学生	○		みんなが大好きな飛行機。実は、地球にやさしく進化している真っ最中なんです。 「どうやってエコに飛んでいるの?」 「新しい燃料ってなに?」そんなギモンを解決しましょう! これからの空の守り方を、プロと一緒に考えてみませんか? ※派遣希望日の1月以上前までに要申込
	パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社 CXイノベーションセンター	県全 域	地球温暖化 省エネルギー	小学生 大人	○		～地球環境を守るためにできることを考えよう～ <環境工作講座> 学習で創(電気をつくる)、蓄(電気をためる)、省(省エネで電気を使う)の大切さを学び、工作によって身近なエネルギーを上手に活用することを楽しみながら体感します。※材料は有料です 低学年向け 900円 高学年向け 1500円
	阿部 治 (公社)日本環境教育フォーラム 理事長	県央 県南	環境史 環境学習 SDGs 生物多様性	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○		SDGsの視点も含めて持続可能な地域づくり(地域創生)の担い手づくりや仕組みづくりなどを全国の先進事例を踏まえてお話しします。多様な情報を基に現代社会が持続不可能であることを伝え、どのようにすべきかをSDGsの視点からお話しします。環境教育やESD(持続可能な開発のための教育)について一般から教育者向けにお話しします。
	小川 達己 学びの広場 代表 NPO法人 エコ・コミュニケーションセンター 理事	県全 域	環境学習、SDGs 地球温暖化 水質環境 省エネルギー 廃棄物・リサイクル 海洋プラスチック 生物多様性 自然体験 食品ロス	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○		ライフスタイル、SDGsなどをテーマに環境学習やリーダー養成の講師を長く務めています。 参加型、課題解決型の学習方法にも明るいです。 クイズ、カード、ワークショップ、対話などを通して楽しく環境について学びましょう。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑥

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
環境 パート ナー シ ップ	松本 いずみ 龍ヶ崎市市民環境会議	県南	環境学習 SDGs	小学生 (高学年) 中学生	○	○	生きるためには食料が必要であり、電気エネルギーがなければPCも動かない。食料(物質)もエネルギーも地球の中で循環している。小学生とは生き物を育む土について観察と実験を通して考え、中学生とは「持続可能な社会とはどんなものか」衣食住に使われるエネルギー利用を中心にICTを利用して、一緒に調べて考える。
	青木 通彦 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会	県全 域	環境学習	小学生	○		小学生向けキッズミッションでは、「歌って踊ってのエコ体操」「ビンゴゲームによる環境学習」「風呂敷の包みの実演」「地球温暖化について」「電気を節約しよう(省エネ)」「ゴミを減らそう(3R推進)」等により、楽しい授業を心がけます。学習会の内容についてはご相談ください。
	小島 幸子 逆川子どもエコクラブ 代表サポーター	県全 域	環境学習、SDGs 地球温暖化 再生可能エネルギー 省エネルギー 廃棄物・リサイクル 海洋プラスチック 自然体験 エコドライブ	小学生 中学生 大人	○	○	小中学生を対象に、環境学習会や環境保全活動を計画・実施しています。また、温暖化防止活動推進員として、温暖化防止やSDGsのセミナー等で、講師も務めています。環境イベントでは、ペットボトルを再利用して、保冷材・万華鏡等の工作教室も開催しています。
	中村 恵美子 しんそう世界だいすきクラブ 代表サポーター 共に生きる	県北 県央	環境学習 地球温暖化 水質環境 省エネルギー 廃棄物・リサイクル 省エネクッキング 自然体験	未就学児 小学生 中学生	○	○	地球環境の現状を知り、身近な環境を未来へ引き継ぐためのスマートライフを学びます。講義例「地球温暖化と私たちの暮らし」「地球の資源と循環について」「グリーンカーテンの役割や環境との関わりについて」「大切な自然環境について」「水質調査・水生生物調査」等。学習会の内容についてはご相談ください。
	北條 勝彦 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 名誉会員(前理事長)	県北 県央 県西	環境学習、SDGs 地球温暖化 水質環境 再生可能エネルギー 省エネルギー 廃棄物・リサイクル 海洋プラスチック エコ住宅 エコドライブ	小学生 中学生 大人	○		地球温暖化と資源・エネルギーの相関、再エネの有効性及び人類の生存に係る「SDGs」目標等について参加者毎に理解しやすい学習内容で提供します。中でも小学生は出来る限り実験などを組み入れて楽しく学ぶように工夫しています。中学生・大人の方対象講座は事前にご要望を取り込んで楽しく役立つ講座に工夫しています。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑦

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
環境 パート ナ ー シ ッ プ	水野 恵美子 NPO法人 エコ・コミュニティー センター 理事	県全 域	環境学習、SDGs 地球温暖化 省エネルギー 廃棄物・リサイクル 海洋プラスチック 自然体験 省エネクッキング 食品ロス	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人 その他 (企業)	○	○	異常気象による温暖化の影響がある 今日、各小中高の学校、家庭、企業、世 界中で地球のために行動できる解決 方法として、各事ができる事は何をし たらよいか具体的な新技術や知恵や 工夫などわかりやすい形で学びを深め るアドバイスをします。 例(食品の皮、干し芋)の工夫、廃材 アート体験もできます。各分野での環 境学習はSDGsの学びを深めることが できます。
	宮田 孝 NPO法人 茨城県環境カウンセラー協会 副理事長兼事務局長	県央 県南 県西	環境学習、SDGs 地球温暖化 水質環境 再生可能エネルギー 省エネルギー 廃棄物・リサイクル	小学生 (高学年) 中学生 大人	○		深刻な環境問題のお話をして、皆様の 未来に大きな影響を及ぼし深刻な日々 になることを伝え、出来ることから皆さ んで努めようとお話、何から始めるかを 共に考える手作りの教材や機器を使う など実体験をして頂き体で覚える授業 と致したい。 地球温暖化、水質、省エネルギー、リサ イクル等、SDGsなど内容をご相談の 上。
自然 環境	石塚 武彦 ミュージアムパーク茨城県自然 博物館 主査	県南 県西	昆虫	小学生	○	○	小学校の理科の教員として主に地域 の自然観察や調査に力を入れてきまし た。現在は昆虫、特にチョウ類を中心 に取り組んでいます。野外に出て、身近な 生きものに興味をもつ子ども達を育て ための手助けができればと思っています。 また、屋内であれば県内のチョウを中 心とした昆虫のお話をしたいと思っ ています。
	井上 尚武 茨城生物の会 理事	県北 県央	昆虫	小学生 大人		○	野外で直接虫を観察する体験は本や ネットで学ぶよりも数倍の感動があり ます。長年昆虫を調べていると、以前は 見られなかった虫が当たり前のように 見られるようになる例に出会います。 原因は一つではありませんが、このよ うな例を昆虫を通して紹介し、地球環境 について考えるお手伝いができればと 願っています。
	萩沼 正和 茨城生物の会	県全 域	昆虫	小学生 中学生 高校生 大人		○	茨城県植物園、茨城県水郷県民の森、 水戸市森林公園、那珂市の子供会 での昆虫や生物観察会の講師を10年 以上続けています。 近年はシーズン中、毎週のライトトラ ップとイモムシ飼育にはまっています。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑧

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
自然環境 昆虫	小菅 次男 茨城生物の会 顧問	県央	昆虫 生物多様性	小学生 中学生 高校生 大人	○		1.写真で見る ①動物から見た茨城の自然。②身近な自然での生物多様性。③ひたち海浜公園の海浜砂丘の豊かな自然と保全。④新種ヒヌマイトンボなどの希少昆虫の生態と保全。 2.幼・小学生向きの木の実で作るクラフト ①木の実で作る動物(不思議な鳥のフーチャン・トリケラトプスなど) ②マツボックリのクリスマスツリーに魔法の水で雪を降らそう。
	佐々木 泰弘 茨城県生物多様性センター 茨城生物の会 事務局長	県全域	昆虫 生物多様性	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○	○	県内の各地域に生息している昆虫類、特にチョウ類について観察のお手伝いをします。実際に飛んでいる姿がどのように見えるのか、観察できた虫たちからその地域の環境についてどの様なことがわかるのか、温暖化の影響など、共に考えていければと思います。
	成田 行広 茨城生物の会 副会長	県北 県央	昆虫 生物多様性	小学生 中学生 高校生 大人	○	○	身近な自然をとおして、自然界の成り立ちを考えることができるような学習会、観察会に取り組みたいと考えています。
	久松 正樹 ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主査	県全域	昆虫	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人	○	○	ミュージアムパーク茨城県自然博物館で昆虫を担当しています。「昆虫ビンゴ」や「昆虫探検ブック」等を使った観察会や、茨城県のハチ類相の講座等を行います。身近な昆虫を観察することから地球規模の環境保全について考えていきたいと思っています。
	山根 爽一 茨城県生物多様性センター センター長	県全域	昆虫 生物多様性 環境学習	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人	○		人類は、地球上に住む1000万種もの生物種からなる様々なタイプの生態系の一構成員です。ヒトは生態系から多くの恩恵(生態系サービス)を受けており、その生存にとって生物多様性は根源的な基盤となっています。生物多様性とは何かを学び、茨城の色々な生態系を調べ、その恩恵や保全のあり方について一緒に考えてみませんか。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑨

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
自然環境 植物	独立行政法人 国立科学博物館 筑波実験植物園	県央 県南 県西	植物 生物多様性 自然体験 SDGs	小学生 中学生 高校生 大人	○ ※ 但し 組み 合わせ は なし	○ ※ 但し 組み 合わせ は なし	「植物の多様性を知る・守る・伝える」 植物園として、日本の代表的な植物を はじめ世界の熱帯やサバンナ、乾燥地 域に自生している植物など、およそ 3,000種類を観察することができます。
	安嶋 隆 茨城生物の会 副会長	県北	植物	中学生 高校生 大人	○	○	近年、雑木林や水田、道ばたには外来 種があふれかえり、在来種が減少して います。最近のこのような環境変化を 眼、手、鼻、舌、耳の五感で感じられる 観察会に取り組みます。 また、季節に応じて、花、樹皮、冬芽、葉 などのテーマで植物を観察することに も心がけたいと思います。
	安見 珠子 茨城生物の会 理事 日本シダの会 茨城植物研究会	県全 域	植物	小学生 中学生 高校生 大人	○	○	児童・生徒向けには、学校のまわりの 自然観察や木の実・木の葉などを作っ た工作。一般向けには植物中心の自然 観察、季節の植物の栽培やコケ玉づく りなど楽しい活動を通して自然のしく みを学びましょう。
	飯田 勝明 ミュージアムパーク茨城県自然 博物館 自然友の会 副会長	県南 県西	植物 生物多様性	小学生 中学生 高校生 大人		○	私達の身近にある自然を観察すること は楽しく、興味深いものです。植物を中 心にした自然観察のお手伝いができれ ばと思います。
	岩浪 順子 茨城生物の会 ミュージアムパーク茨城県自然 博物館 総合調査調査員	県全 域	植物	未就学児 小学生	○	○	植物を観察したり、植物を材料にして 遊んだり作ったり、自然とたくさん触れ 合いましょう。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑩

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
自然環境 植物	内山 治男 茨城生物の会 理事	県北 県央	植物	大人		○	野外において身近な植物の名前や特徴を知り、興味・関心を少しでも持ってもらえるような観察会を目指したいと考えています。 (専門分野は維管束、植物の分類)
	上條 隆志 筑波大学生命環境系 教授	県全 域	植物 生物多様性	小学生 中学生 高校生 大人	○	○	リクエストに応じて、 ①生物多様性とその保全 ②火山島の不思議 ③コウモリの生態と保全 ④身近な植物観察など対応します。 ④については屋外 ③については場所・季節によっては屋外も可能です。
	茂垣 はるえ 茨城県生物多様性センター 茨城生物の会 理事	県北 県央	植物	小学生 中学生 高校生 大人		○	貴重な植物が失われつつあると言われていますが、野山を歩くと植物の新しい発見があり、その出会いは楽しいものです。ぜひ、野山に出てじっくり植物を観察してみませんか。
	安 昌美 茨城生物の会 理事	県央 鹿行	植物	中学生 高校生 大人	○	○	自分の周りに生えている植物をじっくり生活史を考えて見る。自然保護も考えましょう。
	吉武 和治郎 かさま環境を考える会 会長 茨城生物の会 監査	県北 県央 県南 鹿行	植物 その他(セキツイ動物、地衣類)	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○		身近な植物や地衣類の写真及び標本、脊椎動物の剥製などを使って、それぞれの特徴や分布・ヒトとの関係などを説明します。そして、私達ヒトも生きもの一種であり、他の生きものや自然環境と共存しなければ生きていけないことを理解し、そのためにはどのような取り組みが必要か一緒に考えましょう。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑪

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
自然環境 水生生物	和田 充 茨城生物の会 理事 ひたち太田生物友の会 副会長 自然観察指導員	県北 県央	植物 生物多様性	小学生 中学生 高校生 大人		○	野外での自然観察活動をととして、種子植物やシダ植物などの身近な植物の特徴や似た種類の見分け方について解説します。また、生態系における生物どうしのつながりや生物多様性について説明します。
	鴨川 充 日本貝類学会 茨城動物調査会(海産動物) 茨城県自然博物館 総合調査 研究員	県央	水生生物 生物多様性	中学生 高校生 大人	○	○	茨城の海をメインフィールドとしてそれらの現状の調査・記録に取り組み続けてきました。特に海産無脊椎動物を中心に、多彩な動物たちの生態・分類をととして地元茨城の海の豊かさを再認識すると共に、それらの系統・進化、歴史・文化との関わりについても楽しく考察ができるような観察・学習の場を提供できればと考えています。
	川島 省二 一般社団法人 茨城県環境管理協会 環境事業部長	県全 域	水生生物 地球温暖化、水質環境、再生可能エネルギー、省エネルギー 廃棄物・リサイクル 海洋プラスチック 生物多様性 自然体験 環境アセスメント 環境学習、SDGs	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人	○	○	茨城県は、人も、そこに生息する生き物も豊かな自然に囲まれて生活しています。地域の生物多様性を知ることは、今の環境を守り、今よりも向上させていこうとする意識が育まれます。地球温暖化による気候変動が進む中、私たちができることを実行し、持続可能な形にしていくための学びを一緒にいきましょう。
	早瀬 長利 環境省希少野生動植物種保存 推進員 茨城県自然博物館 動物調査 員 おもしろ理科先生講師	県全 域	水生生物 昆虫、生物多様性 自然体験 環境アセスメント 環境学習 その他(両生類、ハ 虫類、魚類)	小学生 中学生 高校生 大人	○	○	茨城県内に生息する、絶滅が心配される希少動物について生態的な特性や生息環境・分布の現状などについて興味ある話題を説明し、県内の課題について考えることができるようにしたい。また、最近話題となる外来生物についても考えることができるようにしたい。
	舟橋 正隆 ミュージアムパーク茨城県自然 博物館 研究協力員及び総合 調査研究員 元アクアワールド茨城県大洗水 族館参事兼副館長	県北 鹿行	水生生物 生物多様性 自然体験	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人	○	○	茨城の海の多種多様な生き物(魚を主体に海辺から沖合まで)を調査しています。近年、海水温の上昇にともない見慣れない生き物(魚など)が多数出現しています。環境問題を共有しながら、かけがえのないこの豊かな海の自然を学習会などを通して共に考えていければと思います。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑫

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
水生生物	増子 勝男 土浦第一高等学校 教諭	県南	水生生物 生物多様性 自然体験	小学生 中学生 高校生	○	○	霞ヶ浦を中心に県内の淡水魚類の生態や分布に興味を持っている。里山での外来種(魚)の駆除活動や観察会を通して生物多様性の保全活動と共に教育普及活動による人材育成の大切さを強く感じている。
	桐原 幸一 茨城生物の会 会長	県全域	水生生物	小学生(高学年) 中学生 高校生 大人	○	○	自然環境や、そこに生息する動物等について、主に水生生物をメインテーマに、調査方法や、採取方法を通して、体験的に学習し、自然を見る視点を育てるお役に立ちたいと考えております。
自然環境	石井 省三 日本野鳥の会茨城県 幹事	県全域	野鳥 自然体験	小学生 大人	○	○	野鳥をとおして、一人でも多くの方々にありのままの自然に触れて頂き、自然環境の大切さを実感して頂くことをモットーにしています。
	方波見 守一 茨城県鳥獣保護管理員(鹿行地区) 日本野鳥の会 茨城県 潮来野鳥の会 会長	県央 県南 鹿行	野鳥 自然体験 環境学習	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人	○	○	自然の中にいる野鳥は、とても魅力的です。野鳥との出会いの楽しさ、野鳥を見ることの素晴らしさを体験して欲しいと思います。また、野鳥を通して、自然環境の大切さや自然を守る必要性を伝えたいと思います。そして、自分が住んでいる地域の魅力を感じていただければと思います。
	川崎 慎二 日本野鳥の会茨城県 幹事	県全域	野鳥 生物多様性 自然体験	小学生 中学生 高校生 大人	○	○	野外でのバードウォッチングをメインに、身近な野鳥の観察を楽しみながら、その地域にくらす野鳥とその生態、ひとや環境との関りなどについて学びを深めていただきます。室内で野鳥のスライドを使用した講演会、野鳥をモチーフにした工作などもご提供可能です。

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑬

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
自然環境	仲田 立 茨城生物の会 理事 日本野鳥の会茨城県 幹事	県北 県央	野鳥	中学生 高校生 大人	○	○	野鳥の観察会を通して、自然の美しさや魅力にふれて身近な自然を楽しんでもらいたい。
	後藤 俊則 環境省自然公園指導員	県北 県央 県西 鹿行	野鳥	小学生 大人		○	長年の野鳥観察や撮影で培った知識と経験が認められ、水戸市市立博物館の野鳥等に関する展示への写真提供や図録作成協力、野鳥観察会を行う他、茨城県開発公社いこいの村涸沼や鶴の岬の野鳥観察会講師を行っています。野鳥観察会では早く野鳥を見つけるコツや向かい合い方など自分が経験したことを交えて説明します。
	矢吹 勉 日本野鳥の会茨城県 会長	県北 県央	野鳥	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人	○	○	野鳥観察を通して、野鳥の種類、習性などを説明し、地域の環境や文化との関係を考えながら案内します。野鳥の習性、名前、生息状況なども詳しく説明します。そして何よりもその地域と野鳥の関係をみつけて、地域の自然の文化財の発掘、保全地域活性化を進めます。
自然体験	榎本 友好 自然観察指導員	県南 県西 鹿行	自然体験 昆虫 植物 水生生物 野鳥 生物多様性	小学生 (高学年) 中学生 高校生 大人	○	○	時にはゲームなども交えた自然の中での楽しい体験活動から、花でも虫でも動物でも、自分が興味を持ったものを観察したり調べたりする活動、個々の知識からお互いのつながりや関係について考える活動を通して、自然のしくみや人とのつながりについて理解し、自分の自然観を持って行動できる人を育てたいと思っています。
	栗栖 宣博 ミュージアムパーク茨城県自然博物館 主査	県南	自然体験	未就学児 小学生 中学生		○	公園や校庭・園庭など、身近な自然の観察や木の実や草花を使った遊びや工作を通して生き物の不思議や面白さ、そして大切さを一緒に体感しましょう！

茨城県環境アドバイザー プロフィール ⑭

分野	氏名(所属等)	派遣地域	専門分野 講演可能な分野	対象者	屋内 講義 講演 授業	屋外 体験 観察 実習	講演会・学習会・観察会の内容等
自然環境 自然体験	酒井 和宏 茨城県シェアリングネイチャー協会 理事長	県全域	自然体験	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人		○	私たちのもつ様々な感覚(見る、聞く、触る、かぐ…)を使って身近な自然の不思議や仕組みに「気づく」体験活動を行います。「気づく」から自然を大切に「行動」へとつなげます。指導者(保育士、教員団体リーダー等)向けの講座・体験も可能です。
	福井 正人 NPO法人 宍塚の自然と歴史の会 副理事長	県全域	自然体験 地球温暖化 省エネルギー 水生生物 生物多様性 環境学習	小学生 中学生 高校生 大人	○	○	私たちにとってかけがえのない身近な自然について、みなさんと一緒に楽しく学ぶことを第一に心がけて活動していきたいと思っています。
	渡辺 浩美 特定非営利活動法人 やまびと倶楽部 理事長	県全域	自然体験 昆虫 植物 野鳥 生物多様性	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人 その他 (親子)	○	○	主に里山の自然、そこに生きる植物・動物・昆虫などの解説と参加者の気づきを大切に、里山の生物多様性について考え、里山を守り育てるにはどうしたらいいか一緒に考え、言葉などにまとめて記録を残していきます。また、里山の資源である竹や木を使ったクラフト工作や竹でご飯炊きなどの調理を通じて、地元の自然や食材などについて、五感を使って感じてもらうプログラムも実施しています。
	金久 由美 龍ヶ崎市民環境会議 環境学習部会 部会長	県南	自然体験 海洋プラスチック 昆虫 植物	未就学児 小学生	○	○	・未就学児の親子や、幼児への自然観察会(季節といきもの関係)、自然工作体験。 ・小学生へカブトムシの幼虫と季節と植物のつながり(幼虫のいる10月以降～4月頃まで)など、現在の経験を活かして自然の中で過ごす楽しさや不思議さ、大切さをお伝えできればと思っています。
	高橋 郷史 茨城県生物多様性センター 茨城生物の会	県全域	自然体験 植物 野鳥 生物多様性 環境学習	未就学児 小学生 中学生 高校生 大人	○	○	高校での教員経験を活かして以下のことについて支援いたします。 1.自然観察会 2.野外活動(キャンプ) 3.動物の飼育(鳥類・ホ乳類等) 4.飼育小屋の管理(小学校等) 5.生物多様性や外来種についての学習 6.筑波山登山(案内及びネイチャーガイド)